

平成 21 年度 特別展

10月10日(土)～12月13日(日)

休館日：月曜日（祝日は開館）・祝日の翌日
時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
主催：和泉市、和泉市教育委員会 後援：大阪府教育委員会

中世和泉の

ライフスタイル

← culture

← things

記念講演会

11月15日(日)

佐久間 貴士氏
(大阪樟蔭女子大学教授)
「和泉国の中世の村と生活」

歴史講座

10月11日(日)

森村 健一氏 (堺市市長公室文化財課)
「茶人の都・堺の茶の湯文化」

10月25日(日)

灰掛 薫 (和泉市教育委員会)
「和気遺跡で発掘された中世居館」

11月8日(日)

大矢 祐司氏 (泉佐野市教育委員会)
「史跡日根荘遺跡とその周辺 -発掘調査の成果を中心に-」

講演会・講座とも、午後1時30分～3時30分
いずみの国歴史館(まなびのプラザ会議室)にて
聴講無料。定員80名(事前申込不要、当日先着順)

展示解説

10月17日(土)、12月5日(土)

午後2時～2時30分 いずみの国歴史館展示室にて

中世古文書講座 実践編(全3回)

11月29日・12月6日・13日(日)

仁木 宏氏 (大阪市立大学教授)

11月6日から電話受付、先着50名

和泉市いずみの国歴史館

〒594-1152 和泉市まなび野2番4
TEL・FAX 0725-53-0802

入館料：大人200円(160円)・大高生100円(80円)
※()は20名以上の団体料金。65歳以上、中学生以下、
障がい者(介護者1名含む)は無料
11月14日(土)・15日(日)は「関西文化の日」のため無料

<交通> 泉北高速鉄道「和泉中央」駅より徒歩20分 /
「和泉中央」駅から南海バス「松尾寺」「美術館前」行で「緑ヶ丘
団地」下車、徒歩5分 / 南海本線「泉大津」駅より南海バス
「春木川」「若樫」行で「内田上」下車、徒歩7分
<駐車場> 隣接する宮ノ上公園と共用の駐車場あり(台数に限り
がありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください)



みなさんは「中世」という言葉に、どのような時代をイメージするでしょうか？

中世には農業や商工業が発達し、市場には農作物や国内外の生活用品があふれるようになりました。また、お金を使った取引も活発になり、人々の生活に変化がおとずれます。

今回の特別展は、平安時代後期から大坂夏の陣までの約500年間を対象とし、この時代に躍動した泉州庶民の暮らしぶりを、「衣・食・住」をキーワードに垣間見ようとするものです。

発掘調査の出土品だけでなく、人から人へと伝わってきた古文書や衣服なども併せて展示することによって、中世に生きた人々の暮らしをより鮮明に描き出します。

重要
文化財

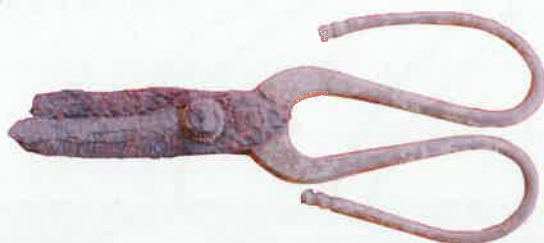
すえむらかまあとぐん
陶邑窯跡群の終わり頃に焼かれた
すえきけびょう
須恵器 花瓶 (大阪府教育委員会蔵、
写真は窯業史研究会提供)



市指定
文化財

まきおさんきょうづか
槇尾山経塚に納められた
せいどうとぎんぎん
青銅鍍金銀
ちようちようそうかもんずいてき
蝶鳥草花文水滴

(和泉市久保惣記念美術館蔵)



まんちよう
万町遺跡出土の
つかてつばさみ
銅製の把をもつ鉄鋏



どそうぼ
万町遺跡の土葬墓に納められた
りゅうせんようけいせいじかつかもんわん
龍泉窯系青磁劃花文碗



重要
文化財

てんしやう
天正11(1583)年の銘の入った
しるしまつつかめそうかもんぬいはくかたすこそで
白地松鶴亀草花文 繡箔肩裾小袖
(泉大津市立織編館蔵)

※実物展示は11月8日(日)まで

おもな展示品

府指定
文化財

松尾寺文書 巻2・5・6
(松尾寺蔵)

まりゆき
桐雪持ち笹文様小袖 (施福寺蔵)
ふくせ
福瀬遺跡 木製弓・下駄

(財団法人 大阪府文化財センター蔵)

かんごう
堺環濠都市遺跡 備前水指、瀬戸花入
(堺市教育委員会蔵)

うえまちひかし
上町東遺跡 木製櫛、毬打の球

(泉佐野市教育委員会蔵)

わけ
和気遺跡 曲物、瓦器碗、土師皿

このほか、市内における最近の発掘調査出土品(初公開)を含む、合計約150点